

ダイジェスト
版

尾張旭市

OWARIASAHICITY



未来へ
咲く
ひまわり



未来へ咲くひまわりで 満たされたまち

「健康都市 尾張旭」では市民が健康になることでまちが健康になり、
健康なまちに育まれて市民がより一層健康になる。そんな素敵な循環が生まれています。
市の花「ひまわり」はまちの輝く未来と豊かな生命力を象徴しています。



QRコードを
スマホで読み取ると
360°VRが
見られるよ!



尾張旭市イメージキャラクター
あさぴー

市制施行35周年を機に誕生しました。市民のみなさんに愛着を持ってもらえるようPR活動に活躍しています。



CONTENTS

- 02 未来へ咲くひまわりで満たされたまち
- 04 進化し続ける「健康都市」
- 05 緑がつながるまちづくり
- 06 紅茶でまちをもっと元気に
- 07 尾張旭ブランド
- 08 みんなが安心して暮らせるまちへ
- 09 地域ぐるみで子育てを
- 10 輝く人・まち
- 11 先人から学ぶ未来へのチカラ
- 12 次代へ繋ぐ術と舞
- 14 令和最初の全国植樹祭
- 15 尾張旭市第五次総合計画



1.秋の風物詩 コスモスと旭城

2.まちのシンボル スカイワードあさひ

3.あたたかな光が彩る駅前イルミネーション

4.緑豊かな森林公园

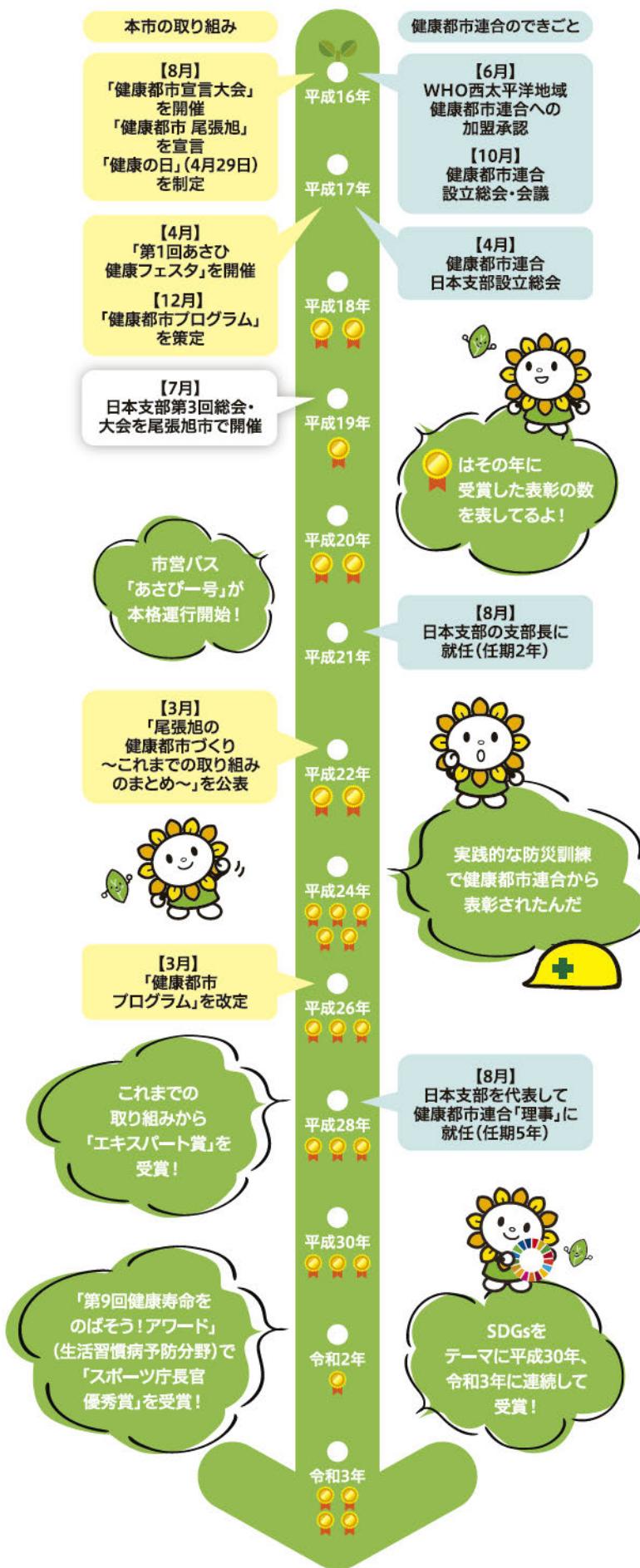
5.憩いの場となっている維摩池

6.秋に赤く色づくどうだん亭

360°
VR



「健康都市 尾張旭」のあゆみ



健康都市連合の活動

2年に1度国際大会が開催され、西太平洋地域の都市や研究者による情報の共有、優れた取り組みに対する表彰が行われます。本市では、健康都市の取り組みを積極的に紹介し、国際的な交流を行っています。

あさひと学ぶ!

進化し続ける「健康都市」



健康都市とは?

世界保健機関(WHO)が提唱する理念で、健康を個人の責任としてのみ捉えるのではなく、都市そのものの健康を通して市民の健康をめざす都市を指します。

尾張旭市では「健康は市民すべての共通の願いである」という考えに基づき、平成16年に健康都市宣言を行い、人もまちも元気にする「健康都市」の実現に向けて、さまざまなお取り組みを進めています。「健康都市尾張旭」は本市を象徴するブランドの一つになり、健康都市のさらなる充実をめざして、意欲的な取り組みを進めています。



あさひ健康マイスター

健康づくり事業に積極的に参加した市民を表彰する制度で、10年連続達成または5年連続達成の受賞者にはメダルが授与されます。



あさひ健康フェスタ

「健康まつり」「あさひーススマイルウォーキング」など健康にちなんだ多彩な催しを通じて市民が「健康都市 尾張旭」を体感できるイベントです。

「健康都市尾張旭」を世界に発信

緑あふれる公園都市

自然とふれあい健康増進

尾張旭市は、豊かな自然に恵まれた公園都市です。まち全体が身近に自然とつながれる環境で、緑に包まれた暮らしがあります。整備された公園や緑地は、市民が気軽に自然とふれあえる拠点になっています。また、市が進める健康都市づくりにも重要な役割を果たしています。四季の移り変わりを感じながら公園の散策路をウォーキングしたり、健康遊具で体を動かしたり、多くの市民が自然の中で楽しみながら健康増進を図っています。



吉賀池湿地

東海地方特有の湧水湿地でシラタマホシクサやミカワシオガマなどの貴重な植物が生育しています。年に6回、一般公開されています。



矢田川

市を東西に流れる一級河川で、河川緑地は野鳥や草花、昆虫など豊かな自然にふれ合える水辺空間です。



健康の源泉

緑がつながる まちづくり

尾張旭市は自然とふれあえる公園や緑地が豊富です。

「健康都市 尾張旭」のまちづくりを環境から支えています。



尾張旭市は、全国にその名が知られる紅茶のまちです。平成23年11月1日に、日本紅茶協会がおいしい紅茶が飲める店として認定した「おいしい紅茶の店」の人口一人当たりの店舗数が日本一多い市として初めて認定されました。平成25年からは「おいしい紅茶の店」の実店舗数で3年連続で日本一になりました。紅茶のまちづくりは、現在、尾張旭市観光協会が中心となって取り組み、「日本一紅茶のおいしいまち」をPRしています。これからも紅茶に関する取り組みを通じて、市内外へ尾張旭市の魅力を発信していきます。

紅茶でまちの魅力を発信

みんなで日本一達成! 紅茶でまちを もっと元気に

尾張旭市は、日本紅茶協会認定の「おいしい紅茶の店」日本一となった、おいしい紅茶のまちです。



尾張旭の新メニュー商品 開発プロジェクト「旭色」

紅茶と尾張旭市産のいちじくを活用して、市内の飲食店が新商品やメニュー開発を行うプロジェクトです。

紅茶フェスティバル

紅茶バザール、紅茶シンポジウムなど紅茶をテーマにした催しを通じて紅茶と尾張旭の魅力を伝えるイベントです。



尾張旭市の魅力や素材が活かされた商品を特産推奨品に認定しています。

朝採り完熟いちじく

「完熟」にこだわり、食べごろの朝に収穫したもので、甘みが強く、芳醇な香りが特徴です。



「不老不死の果実」と呼ばれるいちじくは栄養満点。消化の促進や糖尿病予防などに効果があります。



口いっぱいに広がる甘さは一度食べたら忘れられません。採れたていちじくのジャムも大人気です！

尾張旭の逸品がそろう 特産推奨品

豊かな自然環境と歴史・文化、さらには消費需要が旺盛な大都市近郊という地の利にも恵まれている尾張旭市には、魅力的な地域資源があります。その代表が朝採り完熟いちじくと紅茶で、これらを活用した商品が数多く生み出されています。尾張旭市商工会では産業・観光事業の育成を目的として、尾張旭市の魅力や素材が活かされた商品を特産推奨品に認定しています。

全国へ発信中！

尾張旭 ブランド

紅茶や朝採り完熟いちじくなど魅力的な地域資源を尾張旭ブランドとして全国展開しています。



特産推奨品も
売っています！



尾張旭まち案内

尾張旭市の情報発信拠点。観光情報などの発信や市PRグッズ・特産推奨品などの展示・販売をしています。

PROFILE

いちじく農家「谷口農園」
たにぐち のぶひろ はすだ みほ
谷口 亘弘さん／蓮田 美保さん

農園で尾張旭市の特産品「朝採り完熟いちじく」を栽培。直売所では赤、白、黒の3種類の朝採り完熟いちじくや加工品を販売しています。



市内全コンビニエンスストアに AEDを設置

市内全てのコンビニエンスストアに設置されているほか、一部公共施設に屋外設置するなどいつでも誰でもAEDが利用できる環境を整えています。

市民の支えあいで 消防・救急体制を充実

尾張旭市では、市民が互いの命を守りあう安全・安心なまちづくりを進めています。市内全てのコンビニエンスストアにAEDが設置されるなど、いつでも誰でもAEDが使える環境が整い、救命ボランティアが活躍しています。消防団にも市民が多く参加し、防災活動に取り組んでいます。



まちの健康を守る

みんなが安心して 暮らせるまちへ

互いの命を守りあう救命ボランティアや消防団などで多くの市民が活躍しています。



消防団

6つの分団で組織され、火災の消火活動から各種訓練、地域での防火防災の啓発活動など尾張旭の消防を支えています。



婦人消防クラブ

市内6つの地区で組織され、初期消火活動や応急処置の訓練、防火啓発活動に取り組んでいます。



少年少女消防団

市内の小学5年生から高校生までが在団し、防災訓練などの活動を通じて命や暮らしを守ることの大切さを学んでいます。

たくさんの出会いが未来を育む

地域ぐるみで子育てを

尾張旭市は、育児をサポートする施設やサービスが充実した子育てがしやすいまちです。

サポート充実で安心子育て

尾張旭市の子育て関連施設でよく利用しているのは児童館です。児童館には年齢別のひろばがあるので、子どもが0歳のころからお世話になっています。お父さんお母さんと交流ができるのも良いところで、ママ友と情報交換をしたり、先輩ママからアドバイスを受けられたりしたのでとても心強かったです。「ママ教室」などの講座もよく利用

しました。子育てについて専門家に相談できる窓口も設けられているので安心です。子育て用すれば同じ年サービスを積極的に利用することができるので、一人で不安なことはありませんよ。



PROFILE

うみの ひろゆき
海野 博之さんご家族
2人のお子さんの育児に市の子育て支援施設やサービスを上手に活用し、夫婦で子育てを楽しんでいます。



子育て支援センター

市内に7カ所あり、子育てサロンや子育て相談、子育て講座など乳幼児を持つ家族の子育てをサポートするさまざまな事業を行っています。



親子で遊びながら
他の親子との交流や子育ての
相談ができますよ。





10月

市民祭

ライブイベント、食の広場、伝統芸能の上演など多彩なイベントで盛り上がります。

11月

農業まつり

市内の農家が生産した農産物の展示・品評会や即売会、植木の無料配布などが行われます。

12月

あさひ冬フェスタ

市内各所でイルミネーションをはじめ、魅力的な催しが繰り広げられる尾旭の冬の風物詩です。

4月

城山公園さくらまつり

期間中、夜間はライトアップされ、週末にはイベントなどが開催されます。

8月

たのしい夏まつり

大盆踊り大会や和太鼓演奏などのステージ、模擬店など多彩なイベントで盛り上がります。

未来につなぐ財産
輝く人・まち

一年を通して季節を彩る市民参加のイベントがまちのにぎわいと元気を創出しています。

歴史が新たな歴史を生む

先人から学ぶ 未来へのチカラ

尾張旭市に残る史跡や文化財は、
偉大な先人の足跡を伝える
貴重な財産です。



織田信雄(おだのぶかつ)書状



木造聖観世音菩薩立像



印場大塚古墳

水野又太郎良春

従うながら弥生時代には「ムラ」があり、人が暮らしていたと考えられます。権力を持つ支配者の存在を示す古墳も多数発見されています。

城山公園にある新居城跡など市内

各地に残る城跡は中世に豪族たちによつて築かれました。戦国時代には

尾張旭市には豊かな歴史・文化を象徴する史跡や神社仏閣など数多くの文化財が残されています。市内で最も古い文化財は長坂遺跡で、発見された弥生時代の竪穴住居と土器などから弥生時代には「ムラ」があり、人が暮らしていたと考えられます。権力を持つ支配者の存在を示す古墳も多数発見されています。

江戸時代になると現在の市域の原型となる集落が発展し、名古屋と瀬戸、瀬戸と信州を結ぶ瀬戸街道の中継地点として人々や物資が盛んに往来していました。

尾張旭にはすばらしいレガシー(遺産)を遺してくれた偉大な先人たちがいます。その代表的な人物が水野又太郎良春と毛受勝助家照で

す。水野又太郎良春は南北朝時代、

新居村(現在の新居町等)を開き、彼

が村人に教えた棒術は、尾張旭市を代

表する無形民

俗文化財の棒

の手「無二流」

として伝わっ

ています。毛受勝助家照は稻葉村(現

在の稻葉町等)出身で、戦国武将の柴

田勝家に仕え、戦功をあげました。稻

葉地区に伝わる棒の手「検藤流」は、

彼の子孫が開いたと伝わっています。

毛受勝助家照

めんじょうしょうすけいえてる





時代を超えて受け継がれる

次代へ繋ぐ わざ 術と舞

尾張旭市には県・市の無形民俗文化財に
指定された郷土芸能が四つあり、
伝承と後継者育成に努めています。

目に華やかな女踊り

ざい踊りは、主に少女が踊る女踊りの一つで、先祖供養のための盆踊りとして古くから踊られてきました。現在、尾張旭市では印場地区の鳳采会と三郷地区のみさと会が伝統を守っています。名称の由来にもなっている「ざい」とは、踊るときに両手に持つ手具のことです。長さ約40センチメートルの竹筒の先に約3セントメートルの紅白の紙房がついています。無形民俗文化財の指定曲目「傾城阿波の鳴門」では、ゆっくりとしたテンポで「ざい」を打ち合わせて踊ります。

五流派が伝統を受け継ぐ

棒の手は、一～五人の演技者が棒や木太刀などを使って型を演じる武術的な民俗芸能です。修驗道の護身術や呪術として生まれた棒術を起源とし、五穀豊穣を祈願する神事芸能や農民が自衛するための武術として発展しました。現在は神事要素の強い型と真剣などを用いて見せれる要素の強い型があります。尾張旭市の棒の手は昭和33年に県の無形文化財に指定、昭和51年に無形民俗文化財に再指定され、五つの流派が伝統を守っています。各流派は毎年、ゆかりの寺社に演技を奉納しています。



打ちはやし

太鼓や横笛で演奏されるお囃子で「道行ばやし」「祭ばやし」とも呼ばれます。



馬の塔

江戸時代から伝わる献馬行事で、標具(だし)という豪華な馬具で飾り立てた馬を寺社に奉納します。



棒の手

演技者が手にした棒や木太刀などを打ち合わせる勇壮な民俗芸能で、寺社に奉納されます。

ざい踊り

尾張旭市で古くから行われてきた先祖供養のための盆踊りで、主に少女が踊る女踊りの一つ。無形民俗文化財に指定されています。



**市民が心を一つにして
森の恵みを未来へ**

令和元年6月2日、愛知県森林公園で、第70回全国植樹祭が開催されました。本市では開催前から植樹祭を盛り上げるため市民が一丸となってさまざまな関連行事に取り組みました。現在も植樹祭開催をまちのレガシーとして受け継いでいくため、市民・行政・関連団体が一丸となつて緑化活動や木材利用を進めています。

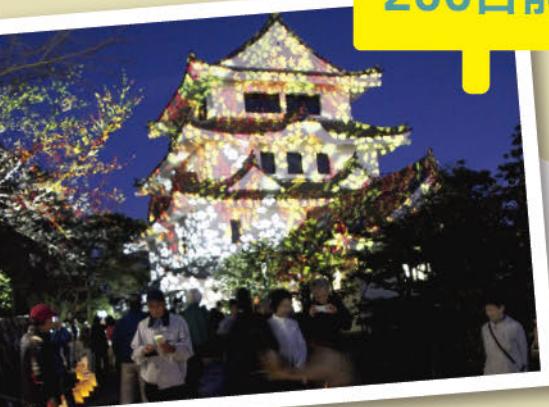
1年前



全国植樹祭1年前イベント

カウントダウンボード除幕式やステージイベント、植樹イベントなど市民参加のさまざまな催しで植樹祭の開催機運を盛り上げました。

200日前



みどりとひかりのハーモニー

市内にアトリエを構える光の切り絵作家 酒井敦美さんのオリジナル作品によるライトアップで、旭城一帯が幻想的な雰囲気に包まれました。

植樹祭のレガシーを後世に

令和最初の全国植樹祭

令和初となる全国植樹祭が愛知県森林公園で開催され、植樹祭のレガシーとして緑化活動や木材利用を進めています。

令和元年6月2日

サテライト会場

市内に設けられたサテライト会場1カ所、PR会場3カ所で式典行事が生中継され、多くの市民が観覧しました。



植樹の取り組み

全国植樹祭の開催理念を継承していくため、植樹や啓発イベントなどさまざまな取り組みが行われています。



メイン会場

天皇皇后両陛下にご臨席を仰ぎ、お手植え・お手まきやおこぼをいただきました。式典の冒頭では、市長が参加者1万人に対して、歓迎のあいさつをしました。

写真:愛知県提供



分野横断的な まちづくりと市政運営

さまざまな行政課題の解決に向けて分野横断的な取り組みを進めています。また、市民・行政の信頼関係のもと、協働によるまちづくりをめざしています。

みんなで支えあう 健康のまちづくり

全ての市民が生涯いきいきと健康に暮らせるように健康増進事業に取り組むとともに、みんなで支えあう健康のまちづくりを進めています。

豊かな心と知性を 育むまちづくり

まち全体で次代を担う人材の育成に努めています。また、生涯学習やスポーツの振興、郷土の伝統文化の継承・振興にも取り組んでいます。

尾張旭市 第五次総合計画

将来の都市像

人と人がふれあう まちづくり

市民活動の活性化やまちのにぎわい創出などの取り組みを進め、人と人がふれあい、愛着がより一層感じられるまちをめざしています。

みんなで支えあう 緑と元気あふれる 住みよいまち 尾張旭

快適な生活を 支えるまちづくり

住環境の質の向上や幹線道路整備など交通ネットワークの充実に努めるとともに、道路や上下水道など都市基盤施設の維持管理にも取り組んでいます。

活力あふれる まちづくり

商工業の活性化を図るとともに大都市近郊という立地を活かした農業の振興に取り組んでいます。また、勤労者支援・就労支援の充実に努めています。

安全で安心な まちづくり

災害に強いまちづくりを進めるとともに、事故や犯罪などから市民の生命や財産を守り、安心して暮らせるまちづくりを進めています。

環境と調和した まちづくり

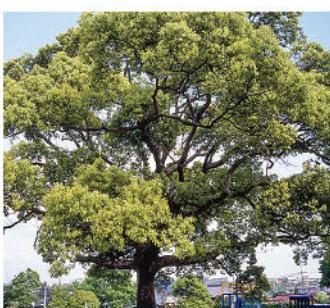
市民・事業者・行政が一体となり資源循環型社会の実現をめざしています。また、緑と水辺環境の保全など環境と共生したまちづくりを進めています。



市章



市の花 ひまわり



市の木 くすのき



尾張旭市制50周年記念市勢要覧 未来へ咲くひまわり

発行:尾張旭市

編集:企画部広報広聴課

〒488-8666

愛知県尾張旭市東大道町原田2600番地1

TEL:0561-53-2111(代表)

<https://www.city.owariasahi.lg.jp/>

発行年月:令和4年1月

